

ああ、 結婚！

—婚活日記—

第26回

黒田長宏

<2023年2月17日>

今回は、マッチングアプリから久しぶりにマッチした派手なスタートだったが、3日ほど、相手からラインに移行してやり取りしていたものの、なぜかわからないが、相手がAIを使って返事してくるので、こちらからライン友達を辞め、ブロックさせていただいた。

面白かったのは面白かったが、変だった。相手の意図はわからない。そして、2つやっていたマッチングアプリを1つに減らした。マスメディアに出ているソロ研

究家という人がマッチングアプリは効果なしと伝えているが、私もそれは実感している。競争が生じると永遠に負け続ける人が出てしまうのが現在のマッチングアプリの仕組みだ。これが克服できたら、マッチングアプリの独占になれるとさえ思う。

<4月12日>

あれからマッチングアプリを辞めてしまい、とは言っても何も効果がなかったのだが、それから何もなく、パソコンを開いたら、AIのような相手というのが、ここ数日急にNHKなどマスメディアが紹介しまくっている、チャットGPTというのが脳裏に浮かんでしまった。数日前に、『婚難救助隊』のサイトのカウンターが1万を超えたので、1千ごとに登録者(数人だけど...)にメルマガを出していたのだが、そのメルマガの管理会社がメルマガサービスを辞めてしまうというのでショックだったが、登録者に1万1千までカウンターが伸びる前にメルマガサービスが終わりそうだと説明しておいた。何事も難しいものだ。

<5月3日>

締め切りまで22日になってしまっていた。今日は憲法記念日。とても良い天候で、ゴールデンウィークも行楽や帰省にとっても気持ちいい人が大勢いるだろうと思う。コロナの毒性も弱くなっていけば良いのだが。前回記述した間にチャットGPTをやってみたが、私は誰か聞いたら、元日銀総裁なのだそうだった。やは

り、生身の人間が話し相手のほうが良さそうだと。

マッチングアプリも効果はなかったものの、気を紛らわすには作用していたらしく、やらなくなってしまうと、地域、職場その他、まるで出会いもない感じで、打つ手なしのように思ってしまう。しかし、ここで絶望したら負けである。

実際の出会いは不確定だが、各SNSで結婚難で孤独死まで追い込まれる人が私も含めているというのに、やれパパ活だ、やれ不倫だのとふざけた話があったら、ふざけるなという強い非難をSNSで世界中に拡散させている。

私の考えでは、結婚できない人が孤独死するのは、不倫または結婚しないふざけた人達がいるためなのだ。この活動は不確定ではない。自力である。ところが結婚は一人ではできない。いくら発信しても他力がかかわる。正確にはそういう性的モラルの不安定な情報が流れないとできない活動だが、まずそういうことはない。連日、男女関係の不貞な話は流れてくるのだ。日本の性モラルは乱れているか、もしくは無いのだ。そして文部科学省以下の教師たちは表向き安定しながら裏では・・・???

婚難救助隊のYouTubeの登録者は今日のところ261名。

<5月7日>

このペースではまだ書いたばかりではあったが、締め切りのアナウンスがあったのでいつも通り、はやめはやめでいこうと思う。昨日今日の天気はそれぞれ強風と雨で不安定である。大型連休を過ごす人達のラストは自宅が無難だろう。

今回はまずマッチングアプリをやめてしまったことが大きい。マッチングアプリは気休めにかならないのだが、気休めがなくなってしまったので、焦りがではじめてしまい、生活が癩癩気味になってしまい困った。

特に5月にYouTube『婚難救助隊』の登録者数が260前後で増えたり減ったりして着実に伸びなくなっていた。ところが、この時点で264人の登録になっている。まだまだ決まりきった予測はできないと思うべきかも知れない。私のYouTubeが有名になればなるほど、日本の結婚難問題は解決できるという矜持が大事だ。世界まではなにしろ人口爆発の途中である。まず日本。それには自分自身を諦めないことだ。